

2005年11月24日

## 博報堂生活総合研究所 中国の10代 意識調査

## 中国の10代は、未来に希望。 70%以上がケータイ所有のケータイ世代

- 日本と中国の10代比較 -

博報堂生活総合研究所は、2005年8月に、中国・上海にすむ16歳～19歳の男女各200人を対象に、彼らの意識を探る調査を実施致しました。この度、その速報がまとまりましたのでご報告致します。

博報堂生活総合研究所では、2002年より日本の10代の若者研究を開始し、昨年「日本の10代」について報道資料にて紹介致しました。今回の調査は、日本の10代に行ったものと全く同じ調査項目で、中国の10代にインターネットにて定量調査を実施したものです。本速報では、日本と中国の10代の生活意識の相違点を中心に、中国の10代の意識と実態をご紹介します。

## [調査概要]

## 中国の10代

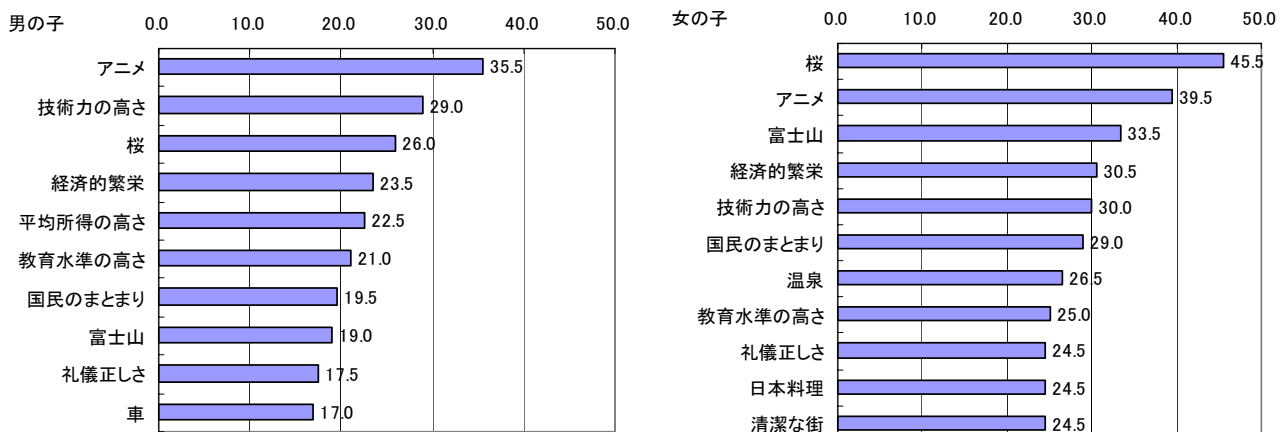
調査地域: 上海  
 調査対象者: 16歳～19歳  
 サンプル数: 男女各200人(各年齢均等割付)  
 調査方法: インターネット調査  
 調査時期: 2005年8月

## 日本の10代

調査地域: 一都三県(東京23区、東京23区外、千葉県、埼玉県、神奈川県)  
 調査対象者: 16歳～19歳  
 サンプル数: 男女各200人(各年齢均等割付)  
 調査方法: インターネット調査  
 調査時期: 2004年6月

## 日本といえば「アニメ」「技術」「桜」「富士山」。日本人の気質には好印象。

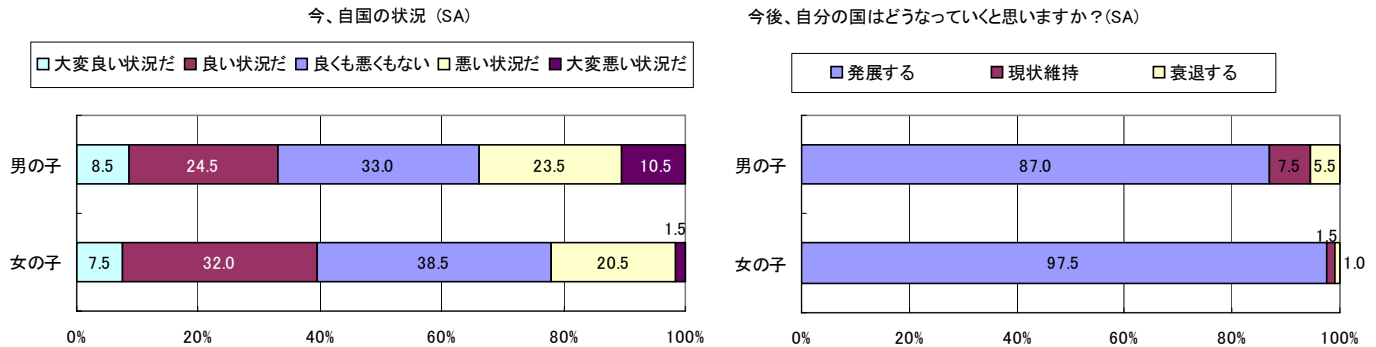
「日本が世界に誇れることは何ですか？」と聞いてみたところ、「先端技術」(アニメや車など)、「伝統文化」(桜や富士山など)とともに上位にランキングされたのは、日本人の「国民性」(教育水準の高さ、国民のまとまり、礼儀正しさ)でした。現地で開催したグループインタビューでも、「日本の女性は良妻賢母」「日本人は勤勉」など、やや古典的かつ画一的ではあるものの、概ね日本人の気質には好印象を持っていることが分かりました。(スコアは % 複数回答)



## 自国について：「現状に少々不満あり、未来に希望あり」

中国は、目覚ましい発展を続けていますが、10代は自国の現状を必ずしも全面的に肯定していないことがわかりました。現地でのグループインタビューでも、「貧富の差」「環境問題」などを、中国の問題点として挙げる10代が多く見られました。

一方で、自国の未来に対しては必ず発展するという希望を持っていることもわかりました。



## 将来について：目指すは昇り竜。

長引く不況による将来不安から、日本の若者は非常に安定志向になっています。男女ともに、安定が得られやすい資格のある職業を目指す人が多く見られます。一方、中国の若者は上昇志向です。

中国でも資格を必要とする職業が上位に上がってはいるものの、グループインタビューの結果、日本の若者の資格志向と中身が異なることがわかりました。彼らは、安定志向からの消極的な資格志向ではなく、上昇志向としての資格志向でした。なお、教師という職業は、中国では日本におけるそれよりも圧倒的に尊敬されています。

「社長」や「高級管理職」など、キャリアアップを目指す若者が特に女性に多く見られます。グループインタビューでも、ごく普通の女の子から「独立したい」「社長になりたい」といった声が聞こえてきました。

### <中国 男子>

- 1位: コンピューター関係
- 2位: 医者
- 3位: 社長、CEO
- 4位: 教師
- 5位: 弁護士、エンジニア

### <中国 女子>

- 1位: 教師
- 2位: 社長、CEO
- 3位: デザイナー
- 4位: マスコミ関係
- 5位: 高級管理職、マネージャー

### <日本 男子>

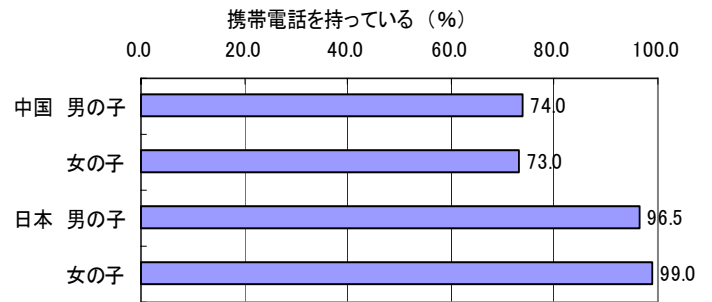
- 1位: コンピューター関係
- 2位: 公務員
- 3位: アーティスト、薬剤師、弁護士、教師

### <日本 女子>

- 1位: 保育士
- 1位: 教師
- 3位: 医者
- 4位: キャビンアテンダント
- 5位: お嫁さん

中国の10代も『ケータイ世代』に。70%以上がケータイを保有。16才からケータイ生活。

質問：携帯電話を持っていますか？



質問：何歳からケータイを持ち始めましたか？

男子 平均15歳      女子 平均16歳

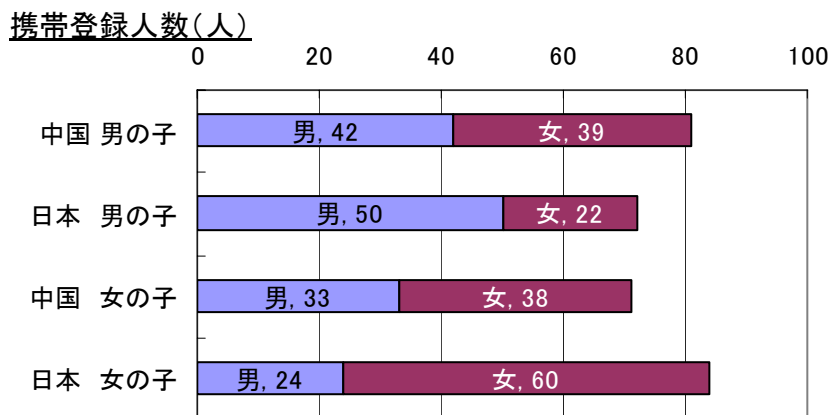
日本ではほとんど全員でしたが、中国でも7割以上の10代が、ケータイ電話を持っていました。上海という経済的に反映している都市部とはいえ、経済的格差があることを考えるとかなり高い数字といえそうです。

また、彼らがケータイを持ち始めた平均年齢は、約16歳。日本の10代は約15歳でしたので、あまり変わりません。中国にも20歳を越える前にケータイを持ち始めた最初の世代、『ケータイ世代』が、日本と同様に生まれています。

質問：1カ月のケータイ料金はいくらですか？      平均 約90元

彼らの「1カ月のケータイ料金」は、男子約103元（約1442円）、女子約80元（約1120円）。日本の10代と比較するため、物価の違いを考慮し、お小遣いに占める比率を計算すると、日・中とも約20%でした。彼らにとってケータイ料金の出費は、相当な痛手となっていることが予想できます。（1元=14円で計算）

質問：ケータイに何人の人が登録されていますか？



ケータイ登録人数の総数は、日・中ともに平均すると70～80人でした。社会人からすると大した人数ではありませんが、10代という年齢にしてこれだけのネットワークと常時接続できるのは、日・中ともに彼らが初めての世代と言えます。

また、日本では、男の子は男性の登録人数が多く、女の子は女性が多いのに対し、中国10代は男女ともに男性・女性の登録人数比にあまり差がありません。異性を意識する日本の10代と、異性とフラットな関係を築く中国10代の差が浮き彫りになりました。

**質問：メールと通話をどれくらいの比率で使っていますか？  
(メール：通話の比率)**

男の子： 中国（平均）6：4      日本（平均）7：3  
女の子： 中国（平均）7：3      日本（平均）8：2

ケータイ電話の通話機能よりも、メール機能の使用頻度が多いのは、日・中ともに10代の特徴と言えます。但し、中国10代よりも日本の10代の方が、その傾向が強いようでした。

いずれにせよ、日・中の10代にとって、「ケータイ電話」と言うより、「ケータイメール」と言った方が、適切な表現かもしれません。

但し、中国ではまだ日本のようなギャル文字や絵文字、顔文字と言った若者メール文化は生まれておらず、短文のメールをチャットのようにやり取りすることが多いようです。

**恋愛について：男の子は、「アグレッシブな女の子」、女の子は「才能のある男の子」が好き。**

「どんな異性がタイプか」を聞いてみたところ、日本とは違いが見られました。中国の男の子は、2位に「アグレッシブな女の子」という回答が入っていますが、これは日本の10代では下位に位置したものでした。1位が「優しい子」ではあるものの、優しさと強さを兼ね備えた女の子が人気のようです。

一方、日本の女の子では「優しい男の子」が圧倒的に人気だったのに対し、中国の女の子は才能や男らしさを持ち、引っ張ってくれる男の子が人気のようです。

<b>&lt;中国 男の子&gt;</b>		<b>&lt;日本 男の子&gt;</b>	
1位：優しい	57.0%	1位：優しい	72.5%
<b>2位：アグレッシブ</b>	<b>50.0%</b>	2位：可愛い	69.5%
3位：可愛い	47.5%	<b>3位：配慮ができる</b>	<b>51.0%</b>
4位：自分に意見を言ってくれる	44.5%	4位：明るい	49.5%
5位：美人	40.5%	5位：自分に意見を言ってくれる	47.0%
<b>&lt;中国 女の子&gt;</b>		<b>&lt;日本 女の子&gt;</b>	
1位：清潔感がある	62.5%	<b>1位：優しい</b>	<b>90.5%</b>
<b>2位：才能がある</b>	<b>61.0%</b>	2位：落ち着く	68.5%
3位：落ち着く	58.5%	2位：話が面白い	68.5%
3位：話が面白い	58.5%	4位：かっこいい	62.5%
5位：男らしい	50.0%	5位：清潔感がある	53.5%

本件に関するお問い合わせ

博報堂生活総合研究所

原田

tel 03-3233-6450